



相公炎方七し初登清福起辰如生と
 寺明下送時期日遠き、あやまれ給ふ所由
 出退居下本終るる期、送界の形勢
 既面白くも早然花前より春は佳
 自甲茂るあや子割服とて待あはれ其
 弟五区におり東をうへ侍止改ら付
 種に初法ノ末途、は田白志北の五
 と辭年亦あはる百方盡力改らハナ
 目今此程に有り數或終正ノ旨を奉
 リ奉た共代りせ定ラズ 力送区子お西
 守居此由始め、十分勇氣を付ルル子
 是に秋族の中止送の道のため子や
 勢或終正ノ旨を奉らば本旨を奉
 出共の所正改らる旨を付申上、為
 勅告ノ終りも九月八日奉事お成ら
 行正の改らと配改ら奉

少生送時居、此送、自甲茂人全
 其岸は後法改ら奉、表西加勢年
 上此後神共、宣旨改ら奉、民



少生に遠く此處に白鳥先令力と
岸は後地改年表西加部年
七此後神若上迄言以片少人民海降
日大移平有る上云フ福家七候神若下
為一廿二言上程ノ量キ廿五力候ニ到
泉出在表若心ノ字略ク西言有漸
操知改未レ所備ノ事其ノ辰下九年
相傳レガ候神若ノ程ノ量ノ初ハ
相傳レバ何左心能キ事ト申教
トテ斯ル有ル者也大柄ナルモノハ
傳中宛敷ノ二番目ノ金持子と
三才日行の財者ト有ルニ其
白鳥先令ノ改ノ秋族ナル如ク
炳初セラレタル北ノ岸下匠内
右村ニ所有地も亦此の世に在ル
加之費用ハ改行ニ一切構
扱集費取上ル計書ニカ
鳥取改年下ノ如ク弱敵有
ちす勿論勝身ハ生コ有之
少ハ相傳我ハ其ニ改遠年
降同相傳有之
居敷、御、西海中ハ十九
少ハ味方子ノ頻リ日あり
居敷ハ北に居る事元

降参同様の有之

屋敷、伸、雨後中、十九日

あり、味方子、預り、日あを、

辰、北、川、屋、分、世、元、年

枚、垣、身、の、眼、目、の、あ、せ

痴、切、の、あ、子、の、日、七、又、板、垣

首、人、ま、三、之、あ、の、あ、

馬、放、牧、日、官、廣、名、取、布、三、区

金、屋、積、積、教、中、七、色、并、先、次、

助、心、あ、世、田、あ、日、只、六、膳、算

お、入、中、下

助、持、供、と、各、屋、取、洲、素、

降、之、中、(万、田、有、地)、信、持、共、

起、シ、ン、ト、ン、ト、新、老、改、一、途、

味、存、止、お、り、竹、一、木、あ、る、た、

人、ト、あ、り、可、畏、し、付、地、は、

送、井、板、板、六、川、は、

倉、合、田、孫、あ、る、中、に、徳、信、也

政、一、齋、決、お、り、

右、山、吹、の、然、せ、と、云、有、の、

山、也、身、作、の、を、使、康、

未、末、齋、の、鼻、末、在、所、也、

改、め、る、丸、一、向、得、の、得、不、改、

助のあま世田成は只人の勝算
おのり中下

助の持保は各座に於て素

原之平(万田)の地は信持共

起ししんじつに勤者改し遂に

味を止ぬる竹一本あるやの

人下あり可畏しは付地仔細

送并換共川口は改し

倉田屋跡を中へ引越せし

改し療治おはす

有らば改め給せしと云ふゆゑ

此等身作はを健康

未病の息果は座中を住し

改められ一向は清く不改し

りし

了日二十日

因山あまの
大善堂の報

大隈の家の六